

※裏面も確認してください。(様式9)

海外渡航届

(学部) 学科長/コース長/講座長 (大学院) 指導教員	
------------------------------------	--

_____年____月____日

医学部長・医学研究科長 殿

_____ 医 学部・研究科 _____ 人間健康科学 _____ 学科・専攻
 _____ コース・講座
 _____ 年度 入学 _____ 回 生

学生番号

				-			-				
--	--	--	--	---	--	--	---	--	--	--	--

氏 名 _____ (印)

住 所 〒 _____ (携帯) 電話 _____

E-Mail

このたび、下記のとおり海外渡航しますのでお届けします。
 なお、旅程(任意様式)及び加入海外保険(写し)は添付のとおりです。

記

期 間： _____年____月____日 ~ _____年____月____日
 (下記の目的が3~8の場合は、留学先在籍期間： _____年____月____日 ~ _____年____月____日)

渡 航 国： _____

目 的： 1. 観光 2. 帰省等 3. 語学研修 4. 留学 5. インターンシップ
 6. 青年海外協力隊 7. 研究 8. 調査 9. 学会出席 10. その他(_____)

渡航中の国内緊急連絡先：

氏名： _____ 渡航者との関係： _____ 電話等： _____

渡航中の渡航者連絡情報：E-Mail

電話・宿泊先
 パスポート番号等

(目的が3~8の場合)

詳 細： _____ 渡航先機関・連絡先等

該当に○をつけてください。	
	本学単位修得見込み有り
	先方単位修得見込み有り
	単位修得見込み無し

(※プログラム内容等の分かるものがあれば添付してください。)

_____ 奨学金・費用負担機関名等

- 注1：記名押印は自筆署名をもって代えることができます。
 2：日本学生支援機構奨学金貸与者で、3か月以上留学する場合は、学生課奨学掛で手続きをしてください。

裏面に続く↓

☆安全保障輸出管理関連確認事項：

- ① 本渡航で他者への技術提供がある。 はい いいえ

(技術情報等を海外へ持ち出す場合であっても、自己使用のみで他者への技術・情報の提供・開示がない場合は“いいえ”。また、参加資格に制限がなく誰でも参加可能な国際会議・学会での情報提供も“いいえ”)

- ② 本渡航では『市販の「パソコン、デジカメ、携帯」**以外**』の研究機材、測定器、サンプル等をハンドキャリー、あるいは別送する。 はい いいえ

上記①、②のいずれか一つでも「はい」の場合は、安全保障輸出管理様式2を起票・提出し、安全保障輸出管理部門による審査・決裁を受けなければ渡航することは出来ませんので、該当する場合は、速やかに様式2を提出してください。

様式2を国際掛に提出し、取引可を確認済

⇒安全保障輸出管理様式2：<https://u.kyoto-u.jp/f90pn>

⇒提出先（国際掛）：a40anzen@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp